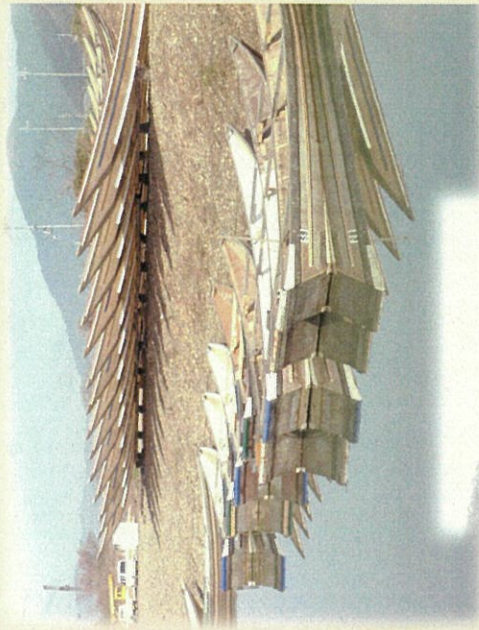


亀岡市新火葬場整備構想（素案）

人と自然が織りなすエンディングの創造

キャッチコピー（素案）



亀岡市新火葬場整備検討審議会

平成30年3月



目次

1	はじめに	1
	・ 亀岡市営火葬場の現状把握	2
	・ 現火葬場の維持管理状況	3
	・ 京都府内の火葬場の現状把握	4
	・ 人口動態による将来の火葬需要	5
2	先進地視察	6、7
3	アンケート調査	8、9
4	次世代ワークショップ	10、11
5	コンセプト	12～14
6	新火葬場の整備内容	15、16
	・ 新たな整備を検討する設備	17
	・ 新火葬場の機能	18
	・ 新火葬場の動線の検討	19
7	新火葬場の整備場所について	20～24
8	事業計画時の配慮・留意事項	25、26
9	審議会の取組み	27、28
	※審議会委員名簿	29

はじめに

亀岡市新火葬場整備検討審議会は、平成29年3月28日に設置され、「平成10年3月に余部町丸山の地において新火葬場の都市計画決定がなされ、その後約20年が経過する中で、亀岡市の状況も大きく変わってきており、これまでの火葬場建設に係る経過を踏まえながらも、現在の社会情勢に即した火葬場の建設場所及び施設規模並びに内容について意見を求める。(要約)」という、市長の諮問を受けて、これまで、先進地視察を含めた〇回の審議会やアンケート調査、さらには、次世代ワークショップを開催してまいりました。審議会の25名の委員をはじめ、幅広い地域、幅広い世代の参加者が、熱い思いで、新火葬場整備の骨子となる「新火葬場整備構想」の議論を重ね、火葬場の建設場所及び整備内容について再検証してきたところです。

その結果、現亀岡市営火葬場の経過・現状や京都府内の火葬場の実態等を踏まえながら、今後の少子高齢化・人口減少社会の進行等、社会経済情勢の変化、また、それに伴う「家族のあり方」、「ライフスタイル」の変化、さらにそこから派生する、「葬送観」の変化といった将来的なニーズを考慮する中で、火葬場を中心とする周辺エリアも含めた葬送のあり方について、その根幹となる考え方を「亀岡市新火葬場整備構想(答申)」として取りまとめられました。

この答申が、新火葬場整備の考え方の骨子となっており、今後、基本計画策定へと引き継がれ、人が人生の終焉を迎えるに当たり必ず利用する「火葬場」が、故人や遺族にとって、各々の葬送観を充たし、心を癒す空間が創造できる火葬場建設へとつながっていくことを期待するところです。

平成30年 月 日

亀岡市新火葬場整備検討審議会
会長 榎村久子

1 亀岡市営火葬場の現状把握

亀岡市営火葬場は市役所の南約800mの市街地に近い場所に位置し、昭和31年に設置され、火葬炉2基で運営。平成7年9月に施設利用の増加により火葬炉1基を増設している。

その後、施設の経年的な劣化や老朽化から、平成12年度、平成13年度に改修。そして平成23年～平成26年にかけて機能更新工事を実施し、現在に至っている。



〔施設の概要〕

位置	亀岡市下矢田町五反田34-1
名称	亀岡市営火葬場
敷地面積	504.00 m ²
建物構造	鉄骨一部二階建
延床面積	405.69 m ²
施設内容	収骨室1室、待合室2室(25名、10名)、火葬炉3基
駐車場	普通自動車10台、マイクログラス2台
火葬開始時刻	10時(死産胎盤のみ)、11時30分、12時30分、13時30分、14時30分、15時30分または16時30分



◆現火葬場の維持管理状況

○火葬の状況

- ・稼働日 364日／1年(1月1日を除く)
- ・火葬炉数 3基
- ・使用料 市内15,000円、市外60,000円

○火葬件数について

平成24年～平成28年における年間の平均火葬件数は、808.8件であった。その内市外の利用者は、58.4件／年平均で、全体の7.2%となっており、毎月約4.8件の利用があることになる。

(火葬件数)

年度	市内	市外	火葬件数	死亡者数	使用率%
H24	768	52	820	855	95.9
H25	747	56	803	791	101.5
H26	705	53	758	774	97.7
H27	769	56	825	817	101.0
H28	763	75	838	—	—
計	3,752	292	4,044	—	—
年平均	750.4	58.4	808.8	—	99.1

○運営状況

- ・運営形態 亀岡市直営(所管：環境政策課)
- ・火葬時間 約2時間(火葬、冷却、収骨) ※1,000℃を超える火葬を行うため耐火煉瓦等の消耗度が高い

○施設の状況

- ・修繕 毎年度、必要に応じて維持管理を実施(火葬炉耐火煉瓦等修繕)
- ・大規模修繕 平成35～平成37年度に大規模改修(火葬炉設備)を要する

◆京都府内の火葬場の現状把握

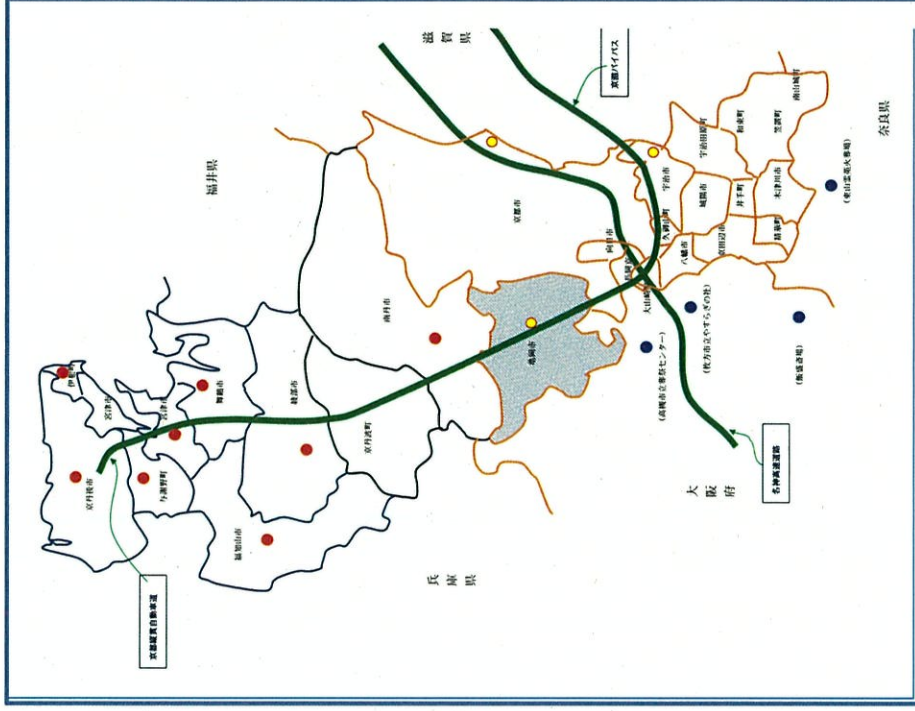
○京都府内の火葬場の現状把握

1 火葬場の設置市町

京都府内の火葬場の設置状況では、亀岡市以北は各市町で設置されているが、亀岡市以南は、京都市、宇治市のみが設置されている。本市以南の市町の利用状況については、火葬場未設置の市町のほとんどで京都市又は宇治市の火葬場を利用されているが、隣接する大阪府や奈良県の火葬場を利用されている場合もあるようである。また、亀岡市の火葬場については、近接する市町から市外利用されている。今後、京都縦貫自動車道等のアクセス道路の整備により本市への利便性が高まり、京都南部地域の市町からの利用を見込むことができるのではないかと考えられる。

2 広域化の検討

火葬場整備に際して、周辺市町との一部事務組合等の広域連携による整備の必要性について検討がなされたが、新火葬場の整備スケジュールとの整合や、広域化の調整期間、施設の整備規模等の判断が困難な面等を考慮し、広域連携については、検討を行わないこととし、京都縦貫自動車道全線開通等の交通アクセス利便性向上による広域的利用の観点で検討を行うこととする。



(京都府内 斎場・火葬場位置図)

◆人口動態による将来の火葬需要

亀岡市の人口動態による死亡者数から、将来の火葬需要を予測する。

○将来の火葬需要の検討

人口動態により死亡者数を予測し、将来の火葬需要の検討を行った。表 3 によると、平成 39 年に死亡者数が 1,100 人を超えることになり、平成 47 年のピーク時には 1,147 人に及ぶことが予測される。これは、平成 28 年の火葬件数 838 件 (P3: 表 1) に対しては、約 1.42 倍に増加することになる。

○火葬炉数について

現火葬場は、火葬炉 3 基で運用しているが、今後増加が予測される火葬需要を考慮すると、火葬炉 3 基での運用が難しく、市民ニーズに答えられない状況となる。

(亀岡市人口)			
年	人口	死亡者数	死亡率
平成22年	93,790	783	0.83%
平成23年	93,393	764	0.82%
平成24年	93,140	855	0.92%
平成25年	92,472	791	0.86%
平成26年	91,910	774	0.84%
平成27年	90,694	817	0.90%
平成28年	90,315	957	1.06%
平成29年	89,577	967	1.08%
平成30年	89,123	989	1.11%
平成31年	88,668	1,002	1.13%
平成32年	88,214	1,023	1.16%
平成33年	87,611	1,034	1.18%
平成34年	87,008	1,044	1.20%
平成35年	86,406	1,063	1.23%
平成36年	85,803	1,073	1.25%
平成37年	85,200	1,082	1.27%
平成38年	84,481	1,098	1.30%
平成39年	83,762	1,106	1.32%
平成40年	83,042	1,113	1.34%
平成41年	82,323	1,120	1.36%
平成42年	81,604	1,126	1.38%
平成43年	80,785	1,131	1.40%
平成44年	79,966	1,136	1.42%
平成45年	79,146	1,140	1.44%
平成46年	78,327	1,144	1.46%
平成47年	77,508	1,147	1.48%
平成48年	76,618	1,142	1.49%
平成49年	75,727	1,143	1.51%
平成50年	74,837	1,145	1.53%
平成51年	73,946	1,139	1.54%

※亀岡市人口、国立社会保障人口問題研究所データ参照

先進地視察

- ・日 時：平成29年8月29日（火）
- ・視 察 先：①筑紫の丘斎場11:00～



- ・日 時：平成29年8月29日（火）
- ・視 察 先：②篠山市営斎場15:00～

○火葬場参考事例の研究

いたわりと敬意

title | 弘前市斎場

profile | 青森県弘前市 設計=前川國男 1983.8



故郷の景色に帰る

title | しずかの里

profile | 香川県三木町 設計=八木澤社一 1999.5



故人を森の中へ送る

title | 金山町火葬場

profile | 山形県金山町 設計=益子義弘 1995.12



風景の中に佇む静けさと厳粛さ

title | 風の丘斎場

profile | 大分県中津市 設計=櫻文彦 1996.7



祈りと奥行き

title | 筑紫の丘斎場

profile | 兵庫県太子市 設計=流藤秀平 2003.7



光と水のセレマトリー

title | 今治市火葬場

profile | 愛知県今治市 設計=佐藤総合計画 2005.3



馴染みある火葬場へ

title | さざなみ浄苑

profile | 滋賀県近江八幡市 設計=共同設計 2005.5



静けさと自然に帰る

title | 瞑想の森

profile | 岐阜県各務原市 設計=伊東豊雄 2006.7



心の情景を創る

title | 広島市西風館

profile | 広島県広島市 設計=日総建・車田建築 2012.4



アンケート調査

- ・実施期間：平成29年9月26日～平成29年10月31日
- ・対象者：亀岡市新火葬場整備検討審議会委員

〔アンケート調査の内容〕

- | | |
|---------------|----------------|
| 問1 火葬炉設備について | 問5 建物等デザインについて |
| 問2 待合スペースについて | ・特色ある建物デザイン |
| 問3 葬儀式場について | ・景観に合ったデザイン |
| 問4 先進地視察の感想 | 問6 基本コンセプトについて |
| | 問7 自由意見 |

○回答要旨・意見

問	回答要旨・意見
問1 火葬炉設備について	収骨室の2室以上、告別室、動物炉が必要な意見がいずれも高い値であったが、霊安室は約50%が必要という結果であった。主な内容は、今後増加が予想される火葬需要に応えられる設備整備を前提として、会葬者グループの錯綜を避けるための整備や動物炉は市民ニーズに応じて整備が必要という回答内容であった。
問2 待合スペースについて	
問3 葬儀式場について	